



校長室だより 足立区立第九中学校

第106号 平成31年3月1日発行 長塚琢磨



【どんな人間になりたいか！意志決定の時！】

いよいよ、卒業・進学が決定する3月に入りました。ご家庭での生徒たちは、心身ともに健康で活力あふれる生活をしているのでしょうか。

2月8日（金）の終礼で、中学校の最大のテーマは「自らの意志と行動力で進路を切り拓くこと」と話しました。また、高等学校等の決定は夢や目標を実現させるための通過点として大切であり、全力で取り組む必要がある。しかし、最も大切なことは「どんな生き方をするかである」と続けました。

第3学年だけでなく、第1・2学年の生徒にも見通しをもって「今を全力で生きる」よう伝えました。ご家庭でも、素敵に人間に成長するようご指導をよろしくお願いいたします。



【平和な社会、安心安全な生活！】

生命はかけがえのないものであり、最も尊重すべきものです。しかしながら、世界規模でみると、戦争をはじめとした様々な争いごとで命を落とす人、災害等で命を落とす人が多くいます。3月10日は「東京都平和の日」です。また、3月11日は「東日本大震災」があった日です。

この機会に、平和や安全について考え、毎日の生活の中で、誰もが安全で安心して生活できるよう自分のできることを積極的に行っていきましょう。

※ 昭和20年3月10日に東京大空襲があり、10万人もの尊い命が失われました。東京都では、3月10日を「東京都平和の日」と定め、記念式典などを行っています。この日の午後1時に、東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、世界の恒久平和を願い1分間の「黙とう」を実施しています。



【3月に贈る詩】《自他を愛し、学校や地域、自然を愛してほしいので、この詩を贈ります。》

奈々子に

吉岡弘

……前略…
 おとうさんが
 おまえにあげたいものは
 健康と
 自分を愛する心だ
 ひとが
 ひとでなくなるのは
 自分を愛することをやめるときだ
 自分を愛することをやめるとき
 ひとは
 他人を愛することをやめ
 世界を見失ってしまう
 自分があるとき
 他人があり
 世界がある
 ……後略…

【第1学年 素敵な合唱コンクール！】

2月9日（土）に、第1学年の合唱コンクールが行われました。朝練習がスタートした期間にインフルエンザがはやり始めましたが、生徒たちのパワーで乗り切り、素敵なコンクールを開催することができました。

どの学級も私の想像をはるかに上回る合唱レベルであり、団結して一生懸命に歌う姿に、合唱の素晴らしさと全力の美しさを感じさせてくれました。閉会の校長講評で、生徒の感動を創り上げる力を褒めました。

当日は、約150人の保護者や地域の皆様に応援いただきましたことに心より感謝申し上げます。



優勝：1年4組

【誇れる九中生！ 区褒賞式！】

2月23日（土）に、足立区庁舎ホールにおいて児童・生徒褒賞式がありました。第九中学校からは、第3学年の中島誠くん（区長褒賞・スポーツ）、第2学年の鈴木佑実さん（区長褒賞・スポーツ）と細井奏乃楽さん（区長褒賞・文化）、第1学年の小場未藍さん（区長褒賞・スポーツ）と小泉莉瑚さん（教育委員会褒賞・スポーツ）が褒賞されました。



褒賞式の様子

生徒たち一人一人には違ったよさがあります。そのよさに気が付き、さらに磨いた結果が褒賞につながったのだと考えています。今後も、生徒たちには、自らを「磨き」「挑み」さらに素敵になってほしいと考えています。そして、充実した豊かな生活を送ってほしいと願っています。

【卒業を祝う！ 餅つき大会！】

明日は、卒業生を祝う「餅つき大会」です。毎年のことですが、地域の皆様（PTA、おやじ・おふくろの会、青少年対策委員会など）が、お忙しい中にもかかわらず、心を込めて、卒業を祝い、日本の伝統・文化を継承してくれることに心より感謝しています。生徒たちには、地域に愛されていることや次代の形成者として期待されていることを知り、素敵に生きてほしいと願っています。ご家庭でも地域の方々の思いを話していただければ幸いです。



昨年度の様子

コラム：2月8日 神保康広さんから学ぶ(地域講演会)

2月8日（金）午後6時30分から「やってみるをかなえる」をテーマに、Lソフィア4階ホールにおいて神保康広さんの講演会がありました。

神保康広さんは、16歳の時にバイクの事故で脊髄損傷し、下半身不随になり、1年半の引きこもり生活を送りました。友達のすすめで18歳の時に車いすバスケットと出会い、1990年から車いすバスケットチーム「千葉ホークス」に所属し、1992年から4期連続パラリンピック出場しました。

講演会では、「応援してくれる友達」「知ることの大切さ」「“やってみること”が大事」「ミラーの法則（やったことが返ってくる）」等、辛い時期のことや心から喜んだことなど、自分の様々な体験を語ってくれました。

最後に「勉強もできず、みんなから遅れていた自分だったが、一生懸命やっていたら次のステップがみえてくる。」「自分はスポーツで世界が一つになると考える」「障がいは、“バリア”ではなく“バリュー（価値）”であり、自分は素敵な価値ある体験ができた」「自分の夢に向かって“やってみる（行動する）”ことが大切である。」と力強く話してくれました。

